



議会だより

祝 令和3年田子町成人式



祝 令和4年田子町成人式



1月8日には延期されていた令和3年、
9日には令和4年の成人式が開催されました

目次

- 1. 新年のあいさつ／視察研修 P2～ P3
- 2. 定例会のあらまし／議員活動報告 P4～ P5
- 3. 一般質問 P6～ P11
- 4. 空き店舗等活用事業 P12

謹賀新年



新年のごあいさつ

町民の皆様、新年あけましておめでとございます。
町議会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も一度は落ち着きを見せたものの、気を緩めることのできない状況となっております。しかし、本年も議員一丸となり、田子町の豊かな町政運営の実現と発展に尽くしてまいりますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

(田子町議会 議長 澤口 勝)

令和3年8月2日より業務を開始した南部町新庁舎にて、一般質問を傍聴



明るい色を基調としているが、黒色がアクセントとなり身が引き締まる印象を受ける。



収納式の簡易テーブルがあり、ストレスなく傍聴できるよう整備されている。

令和3年11月30日、南部町定例会一般質問を傍聴してきました。南部町新庁舎は、木目を中心とし、ぬくもりを感じさせる明るい印象を受けました。一般質問では、議会・当局ともに、真を突いた質疑応答が展開されました。我々もこの傍聴を有意義なものにするため、今後の議会議員活動に尽力していきたいと思っております。

(尾形 憲男)

産業・民生常任委員会現地視察

令和3年9月24日、産業民生常任委員会現地視察が行われました。町立田子診療所では発熱外来。産業振興課関連ではたっこにんにく圃場、CA冷蔵庫を視察し、現状の把握と、今後の方向性を伺い、常任委員会で検討することとしました。



利用可能な住宅もあるが、使用されていない現状にある。

令和3年11月17日、総務・文教常任委員会現地視察が開催されました。上郷小学校・田子小学校・清水頭小学校、各教職員住宅を含む4箇所視察し現状の確認と、修繕等の必要性について協議しました。

総務・文教常任委員会現地視察



田子小学校 教職員住宅は経年劣化が激しく早期対応が必要。

協議

○実施日 9月30日
9月30日開会の令和3年田子町議会第2回臨時会の議事日程等について。

また、11月25日の委員会では同日開催の令和3年第3回臨時会の議事日程及び12月7日開会の令和3年田子町議会第4回定例会の議事日程等について協議しました。

議会広報編集委員会
○実施日 11月25日
議会だより第110号の発行について、掲載内容と原稿を作成する担当者を決め、順次作業を進めることとしました。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 尾形憲男委員
欠端則夫委員 北田騰委員

総務・文教常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 宮村尚哉副委員長 椛本義見委員
山崎美代志委員 澤口勝委員

○実施日 11月4日

教育課

小学校のあり方について説明があり、今後も、地域の方々との懇談会を重ね、出された意見を伺った上で町としての方向性を提案したいとのこと。

総務課

財団の運営について、施設の長寿命化を目的にタプコピアンプラザの屋根改修に係る調査設計を行い、来年度に改修工事を実施するとのこと。

政策推進課

田子町にんにく国際交流協会の運営状況について主な商品の販売状況と、にんにく加工用の原料仕入れ状況について報告があった。

住民課

地域公共交通では、田子高校線の今後のあり方について協議を進めることや、田子町・八戸市直通運行便の乗降実態調査の結果を踏まえ、改正案などについて協議を行うとのこと。

税務課

ふるさと納税については、10月末の寄付件数、金額とも昨年度を下回っているが、新型コロナウイルスの影響が出る以前の令和元年度と比較すると1・6倍となっているとのこと。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 宇藤大介委員長 尾形憲男副委員長 蹴揚清人委員
北田騰委員 澤口勝委員

○実施日 11月5日

診療所・老健施設

10月から派遣医師1名が変更になったことに伴う、医師住宅の修繕を既存予算と予備費により対応したとのこと。

地域包括支援課

3回目となる新型コロナウイルスワクチン接種業務について、接種計画と対象者への通知及び接種関連業務委託などに係る費用についての説明があった。

住民課

町内こども園への給付費等について入園予定者の追加及び児童手当システムの改修について説明があった。

建設課

世紀越えトンネルの具現化について、本年度の主要望活動の状況や県で策定した新広域道路交通計画へ「仮称八戸鹿角圏域間構想路線」として掲載されるとの報告があった。

産業振興課

農産物の病害虫対策については、水稻ではカメ虫被害が確認されたが、昨年よりは被害が少なかったとのこと。

農業委員会

冬期間における農家座談会の開催について協議を行っているとのこと。

商工振興課

農産物直売所の今後の方向性については、当面は町が支援を行う体制であるが、自主運営を基本としていることから収支を精査し、徐々に支援を減らしていくとのこと。

令和3年田子町議会第4回定例会あらし

令和3年第4回定例会が12月7日(火)から12月10日(金)までの4日間の会期で開催されました。

12月7日には諸般の報告、陳情審査の報告、陳情の採決、議案の上程・説明・審議がされました。

同日、追加日程として議案1件が上程・説明・審議がされ、可決となりました。

12月9日の一般質問には4名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

12月10日には、一般質問、1名が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

同日、議案の審議、陳情の付託、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われました。

同日、追加日程として報告1件が上程され、承認となりました。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果
議案第56号	田子町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特別措置に関する条例の制定について	原案可決 (賛8・否0)
議案第57号	田子町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決 (賛8・否0)
議案第58号	田子町過疎地域持続的発展計画(令和3年度～令和7年度)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第59号	田子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決 (賛8・否0)
議案第60号	令和3年度田子町一般会計補正予算(第8号)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第61号	令和3年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第62号	令和3年度田子町水道事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第63号	令和3年度田子町一般会計補正予算(第9号)について	原案可決 (賛8・否0)
報告第13号	専決処分した事件の報告について(交通事故に係る示談契約及び損害賠償について)	原案可決 (賛8・否0)

※議長は採決には加わりません。

一般質問

12月定例会では12月9日、10日に一般質問が行われ、

5人の議員が町政について質問をしました。

内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。

TCVでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P7

- ・ 農業者への支援について

○宮村議員・・・P8

- ・ 町観光事業計画について
- ・ 農業のこれからについて

○尾形議員・・・P9

- ・ 教育環境について
- ・ 観光施設について

○宇藤議員・・・P10

- ・ 原油価格の高騰に対する町民への支援策について
- ・ 町の新たな農業施策について

○山崎議員・・・P11

- ・ 人口減少と高齢化率について
- ・ 教育について
- ・ 一般財団法人田子町にんにく国際交流協会について
- ・ 農業について
- ・ 塚ノ上ミ農地問題について

一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。



欠端 則夫 議員

農業者支援について

質 新型コロナウイルス等により農家収入が減少している。米価の下落への対応は。

答 令和3年度は「米価下落対策緊急支援給付金」として、食用米販売60kgあたり680円を支援し、併せて、農業用として融通契約を受けたものに対して0・5%以内の利子補給する事業も実施します。次年度に向けては、種籾の購入に係る支援を実施したいと考えている。

質 食用の苗を途中から飼料用に転換でき

農畜産業の振興について

きないか。

答 農地を活用し、安定した農業収入を得るためにも飼料用米への転換は必要だと考えており、検討・協議を進めていきたい。

美六姫について

質 美六姫の種子を安価で提供し作付けを増やす考えはないか。

答 県内の販売価格よりも格安で販売しており、将来的に町から受託先に育成、販売を委託した際に必要経費を賄えるよう価格を考慮し設定したものです。生産振興と安定生

産との両面から考慮し、販売価格を決定したいと考えている。



基幹産業の一つとして、慎重かつ迅速に対応しなくてはならない

質 売れ残った種はど

答 ガーリックセンターへ加工用として販売している。

質 その分を、事業拡大のために種用に使えないか。

答 可能な限りまわせるようにしたい。

質 民間への移行はいつ。

答 現時点で考えていない。

牛肉等への取り組みについて

質 これからの方向性は。

答 現在、北里大学と三戸畜産農業協同組合との三者で包括連携協定を締結する方向で協議を進めており、方向性としては「EITセンター」を活用し、畜産農家への受精卵を

活用した技術などを提供し、繁殖肥育技術と生産性の向上を目的とした畜産カレッジの開

催、更に資源循環型農業を目的とした良質な堆肥生産などについて取り組んでいく。

質 特定の血統を推奨し購入補助を考えるとほしい。

答 北里大学と連携して、若い世代を取り込んでいきたい。しかし、産地として地域の中から上質な牛を育てていきたいので、両方とも進めていきたい。

質 長期的には良いと思うが、短期的に収入を見込むため(若者を取り込むため)購入補助を考えるとほしい。

答 産地形成事業の中で、農家と相談して進めている。必要であれば話が上がってくる。農家とともに必要な事へ取り組んでいく。

質 ホールクroppサイイレージの機械を留意する考えはないか。

答 行政に頼り切りにならないように自立してまわしていけるように考慮していきたい。

質 費用対効果の面だけで無く、耕作放棄地等の予防の観点からも考えてほしい。

答 単純な効果では無く農家の自立した思い、夢への補助は積極的にやっていきたい。



宮城県にある、仙台市中央卸市場内



宮村 尚哉 議員

町観光事業計画に
CSN

質 サンモール地区古民家の施設改修工事の今後の計画、運営についてどう進めていくのか。

答 昨年度から内装部分の改修を進めて、今年度は外構部分に着手、3月には外構を完了し令和4年4月中の運営開始を目指している。運営については、町観光協会に業務委託することを基本に観光案内や広く町民が活用できるように検討を進める。

質 創遊村の2棟については改修を断念

農業・産業の大きな
ターニングポイント

し中止となったが、経緯は。

答 今後の町の観光振興のあり方について、もう一度見直しすることが必要であると判断し、古民家らしさを活かした設計に変更を進めていた。しかし設計段階では設計期間を約1カ月見込んでいたが、最低でも1カ月半から2カ月程度が必要であるとの結論に至り、工事期間が確保できない状況となりました。この協議に9月末まで要し、変更を必要としない部分の工事を進めながら並行して設計変更を行う契約はできないか、協議いたしましたが、不確定要素が大きいため契約に至りませんでした。

質 令和4年4月に開業としているが、4月も繰越工事はあるのか。

答 外周と中央広場の整備を予定している。

質 事業を繰り越すことはできなかったのか。

答 東北農政局に確認したところ、繰り越せないと返答がありました。

質 これからどうするのか。

答 活用するには修繕や耐震補強が必要。できる限り長く使用していきたいと考えている。当然、その分の経費はか

かってくる。観光のあり方も踏まえ再考しなければならぬ。



観光案内の拠点として活かしていきたい

農業のこれからについて

答 再生可能な農地が18・9ヘクタール、再生不可能な農地が106・7ヘクタールあり、合計125・6ヘクタールが耕作放棄地となっている。耕作放棄地再生対策事業を創設し4・2ヘクタールの耕作放棄地を解消している。

質 耕作放棄地再生対策事業とは。

答 農地の再生、栽培のための経費に対し、半分の補助か、10アールあたり上限5万円のどちらかを補助する事業です。

質 5年で4・2ヘクタールはどう考えているか。

答 数値的には少ないが農家の現状を踏まえると、少なくとも有効利用のために引き続きやっていきたい。

質 たばこの廃作を町単独では無く、広域的に協議する気はあるか。

答 単独は難しいと思うので、協議できるか考えていきたい。

質 岩手県や秋田県の近隣を巻き込んで問題へ取り組んでいけないか。

答 この件以外にも一体となって協力できるような取り組みしていきたい。



広域的な取り組みが必要不可欠となる



尾形 憲男 議員

教育環境について

質 田子高校閉校に伴い、志望する高校に見合う基礎学力を確保するための対策は。

答 高校受験の出題内容では、小・中学校での学習内容の集大成となり、中学校の学習内容を理解するためには、小学校の学習内容の定着度合いが重要となるので、小学校6年生を対象とした公営塾の開設を検討している。小学校で学習したことの確認と定着を図るため卒業後の春休み期間中に、子どもたちがつまずきやすい傾向のある算数と英語の実施を

未来を担う子どもたちへの教育は

考え、中学生を対象にしたものも検討中です。

質 公営の塾の目的は。

答 個々の学力に合わせたコースを用意して全体的な底上げを検討している。

質 高校「情報I」必修化、大学入試「情報」への対応は。

答 中学校におけるプログラミング教育において二つの対応案が考えられ、1つ目は、ICT支援員の学校への配置で、プログラミング教育の知識を備え、機器のメンテナンスができる支援員を配置できれば、授業への支援校内研修や機器操作のアドバイスも可能とな

る。2つ目は、学校教
育現場以外の場面で、
ジュニア・プログラミ
ング検定への助成を考
えている。

質 ジュニア・プログラミ
ングへの助成
とは。

答 最高位を1級とし、
4級制の検定試験
で、町内に検定可能な
業者があり助成を検討
中です。

質 タブレット等を自
宅学習として、持
ち帰りの考えは。

答 自宅の環境整備を
含めて、準備・検
討している。

質 通学・下宿等の負
担について町の考

えは。

答 町では、経済的負
担が大きくなると
思われることから、路
線バスによる田子町・
八戸市直通便の開設
入学祝い金、高校生の
医療費助成事業の対象
を全ての高校生に拡大
している。

活用方法は。

答 昨年度から内装の
改修を進め、今年
度は外構の改修を11月
から着手し、3月には
完了予定とし、令和4
年4月中の運営開始を
目指し取り組んでいる。
活用法については、町
民の憩いの場やショッ
プの出店など多目的に
活用でき、田子町の観
光について情報発信で
きる体制を推進してい
きたい。

質 民俗資料館改修時
に周辺整備でトイ
レ改修もできないか。

答 将来的には考えな
くてはならないが、
今すぐは厳しい。

質 ゲートウェイ構想
の内容は。

答 十和田湖を環のよ
うに取り囲む周辺
地域を玄関口と位置づ

け、手を取り合い観光
を推進していこうとす
る構想です。

質 環十和田湖ゲート
ウェイにあたり、
十和田市とは繋がりを
もっているのか。

答 十和田市が中心と
なって行ってほし
いとお願ひしたが返事
がない。しかし、十和
田湖を含む南側ルート
で協力し県境を挟んだ
自治体で動いていきた
い。



教育環境の変化に対す
る支援を慎重に検討し
てほしい

観光施設について

質 旧民俗資料館改修
工事の進捗状況



周辺市町村との連携を
密にして進めてほしい



宇藤 大介 議員

原油価格の高騰に
対する町民への支
援策について

質 ガソリン価格の高騰が続いている。町の具体的支援を要望するが町長の所見を求める。

答 経済対策の中で、いくつかの支援策が示されていますが、国からの財源負担割合など、その詳細がまだ明確に示されていないため、町として具体的な事業を組まず、進められない状況となっている。今後は、国の動向を注視し、関係部署との連携を強め、準備を進めているので、

町民が安心して暮らせるために、 現状を把握し迅速な政策を求める

情報が入り次第、速やかに事業内容を協議し町民への支援策を展開する。

町の新たな農業政策
について

質 町の基幹産業である農業のあり方を

真剣に議論する時期が到来している。後継者不足は言いつまでもなく、就労人口の減、高齢化、燃油や機材、飼料、肥料の慢性的な高騰と多くの負の要素に対して、明るい町の農業の将来像が展望できていない。日本一のにんじくの町を標榜する我が町であるが、品質や生産量の減少は否めず、従事者の高齢化と、なり手不足が減退に拍車をかけている。現状の打破には、可及的速やかに改善策・打開策を講ずる必要がある。農業の持続的な発展と農

業支援について大胆かつ、能動的な発想、検討、協議を求めるが、町としての見解は、

答 町はこれまで農業

振興を図るため、様々な取り組みを支援してきました。また、多角的な視点から持続可能な農業に向けて支援し、一般の米価の下落については、生産意欲の維持を図るため、販売実績に基づく給付金の支給に向け受付を進めているところです。今後は、農家座談会を実施して現状・課題、展望などを伺いながら事業展開について検討していく。葉たばこの廃作については、廃作者へ今後の計画の聞き取りを行い、広くフォロ

ーアップしていく。振興方針については、「農業経営基盤の整備」、「生産性の高い農業・農地利用」、「農産物の販売強化」、「集落間連携の構築」などを掲げ、これまで抱えてきた課題と向き合い、解決に向け、新しい農業のあり方を検討したいと考えている。

質 来年度の農政の取り組みは、

答 たばこの廃作、米の下落は、いずれ訪れるものと思っていた。担い手問題も同じ事で、起こりうること。しかし、急に来たことで準備ができていない状況。自治体も農家も同じ事がおきている。しかし、次のステップへいく方々には必要な支援をしていく。これからどうしていいかわからない人々には、何かしら会を開きともに



原油の高騰は、様々な場所へ影響をもたらす



町民への情報提供は迅速に行い対応してほしい

話をして、長期的な展望を踏まえ解決していきたい。それぞれが何ができるかを考えていきたい。



山崎 美代志 議員

田子町の

これからについて

教育について

質 町立小学校のあり方における今後の方針（方向性）を示す時期は。

答 来年1月開催予定の地域懇談会での意見も踏まえ、町教育委員会としての考えをとりまとめ、年度内に方向性を提案していきたい。

町にんにく国際交流協会について

質 商品開発や販売の業務を民間事業者に委ねることで公的負担を避け民営化する考えはないか。

農業について

答 今後においては、地域会社として移住を希望する若者達の魅力ある就業の場として考えていきたいため、今後ますますの連携を進めていく必要がある。また、現在の一般財団法人へ移行する際の運営計画は、公益的活動への長期にわたる収益の活用が条件となっており、現時点では民営化という選択肢は選択しない方向性である。

質

米価下落に伴う町独自の米価下落対策や、すべての農産物が対象となる収入減少を補償する収入保険を農家に進めるために共済掛金等へ町独自に一部助成金を交付する考えはないか伺いたい。

答

米価下落に伴う独自の対策としては「米価下落対策緊急支援給付金」を実施し、令和3年度内に農業用として融資契約を受けた方に対して0・5%以内の利子補給する事業も併せて実施します。更に、次年度では、種籾購入助成も検討中で、米以外での収入確保をするために水田活用への支援と、農業収入全体の収入減少を対象とする「農業経営収入保険」への加入促進に取り組んでいきたい。収入保険を推進するための共済掛金等への一部助成については、農業委員会と連携して農家座談

部助成金を交付する考えはないか伺いたい。

会を実施し、自己防衛に向けた保険制度の情報共有のほか、現状、課題、展望を伺いながら事業展開について検討していく。

塚ノ上農地問題について

町独自の支援策の検討が求められる



質

これまでの一連の経緯について、特に県の指導と農地の所有者の対応と今後の予定（農地の利用計画）は。

答

令和2年6月から表土を嵩上げする目的での埋め戻しが始められた。搬入している資材は主に2種類で、ガラスを粉砕した「ガラスカレット」と、ガラスを熱処理して軽石のようにした「ガラス発泡材」というもので、一般的に販売され他県でも農地に利用されている事例などを知っていたため、搬入したようです。しかし、令和2年7月に県民局環境管理部が現地調査をしたところ、搬入された資材の中にペットボトルの蓋や粉砕しきれなかったガラス瓶の一部などが少数混入していることが確認されました。これらの混入物は地下水など環境に影響を与えるような危険性はないものの、このままの状態での使用は不適切であると判断したため、所有者は埋め戻し作業をすぐに中止し、

質

県からの指導に従うことと伺っています。そして、令和2年11月に、資材の中に混入している、ペットボトルの蓋やガラス瓶の一部など一般廃棄物を除去するよう指導がありました。令和3年3月に農地所有者から農業委員会に提出された農地の利用計画につきましては、分別除去作業を終えた嵩上げ資材に耕土を確保するための自然由来の土をかぶせ、農地として利用する計画の内容を農地所有者から伺っている。今後、町農業委員会と連携し、耕土の確認の他農地の利用状況を見ながら対応していきたいと考えている。

答

詳細については県と当事者が話し合いをしている状況です。

いつ完了するのか。

café & 雑貨 Daisy



田子町空き店舗等活用事業費補助金を活用した店舗の紹介

新井田平で、葉たばこ乾燥小屋を利活用し、“カフェ&雑貨 Daisy”を運営している新井田良子さんの特集しました。



補助率5分の4、上限100万円として補助金を交付する事業



フルーツをふんだんに使用した、贅沢なワッフルプレート

Instagram https://www.instagram.com/daisy_cafe._/

TEL 080-2038-7166 / 住所 青森県三戸郡田子町新井田平44

発行・編集責任者
議長 澤口 勝
議会広報編集委員会 (110号)

委員長 宮村 尚哉
副委員長 宇藤 大介
委員 尾形 憲男
欠端 則夫
北田 騰

執筆協力 山崎美代志

新型コロナウイルス感染症の新たな変異株が増えつつあるなかでも、延期していた成人式も無事、執り行われ、町内にも新たな風が吹き、少しずつ明るい話題が聞こえてくるようになりました。田子町議会も当局とともに、町民の皆様へ寄り添った政策を展開できるよう、尽力してまいります。

(宮村 尚哉)

編集後記